

春季労使交渉(最終集計)

【春季労使交渉】

本会が調査した春季労使交渉結果では、報告のあった 62 社の妥結額平均は 4524 円、アップ率は 1.68%だった。昨年の実績(4856 円、1.85%)と比べて金額で 332 円、率で 0.17 ㊦下回った。賃上げ実績が前年を下回ったのは 2 年連続。

【令和 3 年春季労使交渉結果 (最終集計)】

業種	春季賃金交渉状況			
	社数	妥結額(円)		アップ率(%)
製造業計	34	4,584	(5,331)	1.68 (1.98)
化学	11	5,502	(6,743)	1.96 (2.44)
機械金属	7	4,035	(3,845)	1.38 (1.44)
食品	2	5,522	(6,164)	2.19 (2.60)
金属製品	4	4,708	(6,666)	1.63 (2.17)
電気機器	4	2,908	(3,389)	1.13 (1.24)
その他	6	4,175	(4,484)	1.71 (1.82)
非製造業計	28	4,448	(4,088)	1.66 (1.60)
運輸・通信	6	3,249	(3,092)	1.44 (1.43)
金融	3	4,486	(4,968)	1.73 (1.74)
卸・小売	6	3,815	(4,173)	1.43 (1.55)
土木・建設	5	6,305	-	-
その他	8	4,940	(4,795)	1.78 (1.89)
全平均	62	4,524	(4,856)	1.68 (1.85)

業種別でみると、製造業 34 社の平均額は 4584 円、アップ率は 1.68%だった。昨年実績(5331 円、1.98%)と比べて金額で 747 円、率で 0.30 ㊦下回った。機械金属以外の業種で前年を下回った。

非製造業 28 社では 4448 円、1.66%の引き上げだった。昨年実績(4088 円、1.60%)と比べて金額で 360 円、率で 0.06 ㊦上回った。運輸・通信、その他サービスでは前年を上回ったが、金融、卸・小売で前年を下回るなど業種によってばらつきが目立った。

ベースアップの実施企業は昨年より 1 社少ない 27 社で、実施率は 43.5%だった。

今年の賃上げ額を昨年実績と比べると、62 社中前年を上回った企業が 12 社だったのに対し、下回った企業は 17 社に上った。

《参考》 経団連が発表した中小(従業員 500 人未満)の賃上げ妥結結果(6/11、中間集計)では、212 社の妥結額平均は 4444 円、率は 1.72%となっており、前年の同時期の集計とほぼ横ばい(金額で▲27 円)となっている。(本誌 4 ページ参照)。

【ベースアップの実施・賃上げ額の昨年比】

	社数	ベースアップ実施		賃上げ額の昨年比		
		今年	昨年	上回る	同水準	下回る
製造業	34	15	16	7	15	12
非製造業	28	12	12	5	18	5
全体	62	27	28	12	33	17